

## RETAILER ACADEMY NEWS

Oct 2023 | Bentley Motors Japan

24MYのベンティガ シリーズ  
新デリバティブ追加など魅力アップ

ベントレー モーターズはこのほど、ベンティガ シリーズに新たなデリバティブを追加するとともに、快適性を向上させる装備を導入するなど、ラインアップを拡充しました。今回は、ベンティガ EWBとベンティガのモデルラインアップ、各モデルに導入された装備をあらためてご紹介します。

## デリバティブをさらに拡充

## EWBに「Mulliner」、SWBに「A」を追加

9月号でもお伝えしましたが、ベンティガ EWBには「Mulliner」デリバティブが追加されました。EWBシリーズの頂点に君臨する、ベントレーの新たなフラッグシップモデルです。また、ベンティガには「A」デリバティブを追加。ラグジュアリー志向のお客様がメインターゲットで、ベースモデルと Azure の間という位置づけです。

## 「A」デリバティブの特徴

## EXTERIOR &lt;エクステリア標準装備&gt;

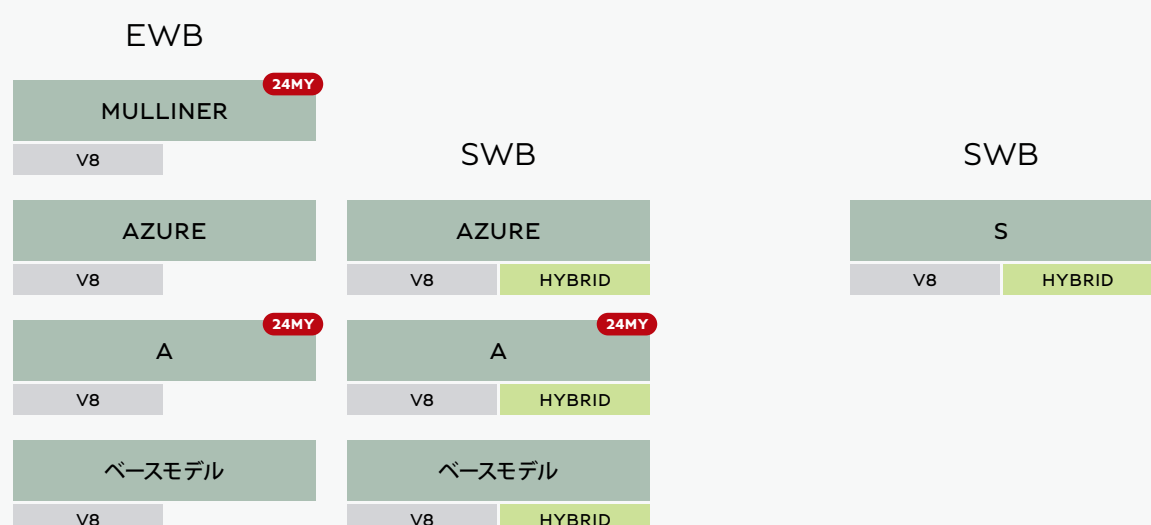
- パーティカルヴェーニンググリル
- ブラック ロワーバンパー グリル
- 「A」バッジ
- 「A」ロゴ入りレッドプレート
- 21インチ ブラック&切削光輝仕上げホイール

## INTERIOR &lt;インテリア標準装備&gt;

- カラースペシフィケーション
- フロントシート コンフォート スペシフィケーション
- オープンポア クラウンカットウォルナット ウッドパネル
- 「A」バッジ (助手席側フェイスパネル)
- 「A」ロゴ刺繍 (シートバックレスト)

## 24MYベンティガ シリーズの各デリバティブのポジショニング

24MY 24MYから新規導入



ウェルビーイング重視

ドライビング ファン重視



# 24MY ベンティガ シリーズの特徴

24MYのベンティガ シリーズには、新しい装備も加まりました。快適性を高めるものや、デリバティブを明確に示すものであり、お客様にとって多くのメリットがある装備です。ここでは主な装備をご紹介します。



## ハーモニー ダイヤモンド キルティング

対象：EWBおよびSWBのMulliner、Azure、A

各ダイヤモンド内に新パーフォレーションパターンを施した新しいダイヤモンド キルティングのデザイン。バックレスト上部は左右対称のパターンで、中心線から離れるにつれてダイヤモンドが伸びていくデザイン。ドアにはアシンメトリー パターンが採用され、ドアとキャピンの長さを強調します。



## 新意匠のマトリックスグリル

対象：SWBのベースモデル、S

フロントカメラの取り付け位置変更に伴い、マトリックスグリルは上部がわずかにカーブする新しい意匠となりました。



## ドライバーインフォメーションパネルの新グラフィック

対象：全デリバティブ

お客様がカスタマイズの設定で他の表示スタイルを設定しない限り、デリバティブごとにドライバーインフォメーションパネルのデフォルトのグラフィックが異なります。デザインは、各デリバティブの特徴に合わせたものになっています。



## 新しいディーブパイルオーバーマット

対象：AおよびAzureは無償オプション、ベースモデルおよびSは有償オプション

天然ウールを使用したラグジュアリーなディーブパイルのオーバーマットです。ウィルトン織りの100%ピュアウールのフロアマットが、モダンでコンテンポラリーなデザインで、快適さとラグジュアリー感を高めます。



## 新デザインのライトスイッチ

対象：全デリバティブ

コンチネンタルGTやフライングスパーと同デザインのスイッチを採用し、ベントレーの全モデルで車種を横断する一貫性を持たせました。



## 機能を拡充させたツーリング スペシフィケーション

対象：MullinerおよびAzureに標準装備、その他のデリバティブはオプション

標準装備のアダプティブクルーズコントロールの機能が拡張されます。車線内にとどまるように継続的にステアリングの修正を行うレーンガイド機能が搭載されます。



## エアコンの改良

対象：全デリバティブに標準装備

新たに微粒子センサーやGPSによるトンネル検知機能が搭載され、車内の空気を清浄に保ちます。後席乗員検知機能は、後席に乗員がいないことを検知すると、後席用の空調を弱め、送風の騒音を低減してエネルギー使用量を削減します。



## Bang & Olufsen for Bentley

対象：全デリバティブにオプション設定

ベンティガ向けの新しい中間クラスのオーディオシステムです。Bang & Olufsen社がベンティガ用に専用チューニングを施しました。合計出力は16スピーカーで1,520W。専用のイルミネーテッド スピーカー グリルが装着されます。



## 日本仕様にコネクテッドカーを導入

日本仕様のベンティガ シリーズに、コネクテッドカーが導入されます。詳細は別途ご案内いたします。

## 7席仕様は廃止

24MYでは、どのデリバティブでも7席仕様のオプションを選ぶことはできなくなりました。





# ハイブリッドモデルを3モデルに拡大 ポルシェ カイエンターボ E-ハイブリッド

ポルシェジャパン株式会社は、2023年8月29日にSUVモデルのトップレンジとなるカイエンターボ E-ハイブリッドの予約受注を開始しました。さらに9月26日にはカイエン S E-ハイブリッドの予約受注を開始。すでに発表済みのカイエン E-ハイブリッドと合わせて3種類のプラグインモデルを揃えました。

## SUMMARY

- マイナーチェンジモデルとしてはポルシェ史上最大級の製品アップグレードとなった新型カイエン / カイエンクーペにおいて3タイプのプラグインモデルを用意
- 新たな電動化技術により電気航続距離の延長と充電時間の短縮、性能面の向上を実現
- カイエンターボ E-ハイブリッドは従来のカイエンターボ S E-ハイブリッドに代わる最もパワフルなカイエンとして登場
- カイエンターボ GT 譲りのGTパッケージを備えたカイエンターボ E-ハイブリッドクーペGTパッケージをパフォーマンスモデルとして設定
- カイエン S E-ハイブリッドはカイエン E-ハイブリッドとカイエンターボ E-ハイブリッドの間を埋める存在で、実用性とパフォーマンスの絶妙なバランスを重視
- 全11種類の新型カイエンおよびカイエンクーペのうち、ガソリンエンジンモデルは4種類、プラグインモデルは7種類で、プラグインモデルがラインアップの中心に



## INTERIOR

- カイエンターボ E-ハイブリッドではダッシュボードとドアパネルのトリムにアルミニウムのインレイを施したデザインを採用
- ステアリングホイールヒーター付のGTスポーツステアリングホイール、18way調整機能付レザースポーツシート、Race-Tex製ルーフライニングを標準装備
- カイエン S E-ハイブリッドは8wayシート、スポーツクロノパッケージ、ステンレススチール製ペダルパッド、シルバースェイド塗装仕上げのディアマールインテリアパッケージなどを標準装備



## TECHNOLOGY

- カイエンターボ E-ハイブリッドでは599PS (441kW) を発生する4.0L V8 ツインターボエンジン+176PS (130kW) の電気モーターの組み合わせで、システム出力739PS (544kW)、最大システムトルク950Nmを発揮。0-100km/h加速は3.7秒、最高速度は295km/h
- カイエンターボ E-ハイブリッドクーペGTパッケージでは10mm低い車高、GT専用のピボットベアリング、ポルシェセラミックコンポジットブレーキ (PCCB)などを標準装備。0-100km/h加速は3.6秒、最高速度は305km/h
- カイエン S E-ハイブリッドは353PS (260kW) を発生する3.0L V6ターボエンジン+176PS (130kW) の電気モーターの組み合わせで、システム出力519PS (382kW)、最大システムトルク750Nmを発揮。0-100km/h加速は4.7秒、最高速度は263km/h
- 25.9kWhのバッテリー容量により、カイエンターボ E-ハイブリッドでは最大82km、カイエン S E-ハイブリッドでは最大90kmの電気航続距離を実現。11kWの新しい車載AC充電器を装備
- 両モデルともに2チャンバー、2バルブ技術を採用したアダプティブエアサスペンションを標準装備。カイエンターボ E-ハイブリッドではポルシェトルクベクトリングプラス (PTV プラス) も標準装備



## EXTERIOR

- カイエンターボ E-ハイブリッドはフロントエンドにターボモデル専用エクステリアを採用
- 大型エアインテークを備えたフロントバンパーとボディ同色リアバンパー、ホイールアーチトリム、2組のツインテールパイプ、赤色ブレーキキャリパーにより他のモデルと差別化
- カイエンターボ E-ハイブリッドクーペGTパッケージではブラックをアクセントにしたデザインとセンター出しとなるチタン製エグゾーストシステムのテールパイプなど専用エクステリアを採用
- 専用装備としてカーボンファイバー製ルーフ、カーボンリアディフューザー、ルーフスポイラーのカーボンサイドプレート、22インチ GTデザインホイールなどを装着
- カイエン S E-ハイブリッドは20インチカイエン Sホイールを標準装備。SUVにはシルバーエクステリアパッケージ、クーペにはブラックエクステリアパッケージを用意



## PRICE

カイエン S E-ハイブリッド	15,910,000円 (税込)
カイエン S E-ハイブリッドクーペ	16,560,000円 (税込)

カイエンターボ E-ハイブリッド	23,420,000円 (税込)
カイエンターボ E-ハイブリッドクーペ	24,000,000円 (税込)
カイエンターボ E-ハイブリッドクーペGTパッケージ	27,900,000円 (税込)



## COMPETITOR INFORMATION

ニューモデル 発売：2023年9月21日 / デリバリー：未定

### アウディ RS 6アバント パフォーマンス / RS 7スポーツバック パフォーマンス



- ・ Audi RS 6 Avant / RS 7 Sportbackに究極のスポーツグレードとなるRS performanceを新たに設定
- ・ 4.0L V8ツインターボエンジンのターボチャージャーを大型化。ブースト圧を2.6barにアップすることで最高出力630PS、最大トルク850Nmを発揮
- ・ 約40mm拡大したフェンダー、3Dハニカム構造のグロスブラックシングルフレームグリルをはじめとするRSモデル専用エクステリアを採用

車両価格 (税込)	Audi RS 6 Avant performance：	19,100,000円
	Audi RS 7 Sportback performance：	19,800,000円

一部改良 受注開始：2023年9月7日 / デリバリー：未定

### ジャガー I-PACE 2024年モデル



- ・ ジャガー初の電気自動車として2018年に導入を開始して以来、初めてとなるマイナーチェンジを実施。オンライン限定で受注開始
- ・ エクステリアにフロントシールドとグラファイトアトラスマットフィニッシュのフロントチークを採用することで、よりBEVらしいスタイリングを実現
- ・ グレードは「R-DYNAMIC HSE」のみ。ボディカラーは3色、インテリアカラーはエボニーを採用。グロスブラックフィニッシュの22インチアロイホイールを装着

車両価格 (税込)	ジャガー I-PACE R-DYNAMIC HSE：	15,171,000円～16,238,000円
--------------	----------------------------	-------------------------

ニューモデル 発売：2023年8月25日 / デリバリー：先行4台のみ2023年内。それ以外は2024年以降

### シボレー・コルベットZ06



- ・ サーキット走行を前提として設計・開発されたパフォーマンスモデル。レーシングモデル「C8.R」からのフィードバックにより高いサーキット性能と快適な乗り心地を両立
- ・ 新開発の5.5L V8自然吸気エンジン「LT6」を搭載。最高出力646PS、最大トルク623Nmを発揮する史上最強のコルベット
- ・ 2023年内に納車予定の先行4台を抽選販売。抽選が外れた場合でも2024年以降納車予定の予約および順番は保持

車両価格 (税込)	シボレー・コルベットZ06：	25,000,000円
--------------	----------------	-------------

特別仕様車 受注開始：2023年8月4日 / デリバリー：未定

### ジャガー F-PACE SVR CURATED FOR JAPAN



- ・ 5.0L V8スーパーチャージド・ガソリンエンジンを搭載するハイパフォーマンスモデル「SVR」をベースに、日本独自の特別仕様車として限定25台を発売
- ・ ボディカラーはSVOによる最先端の塗装技術を用いたSVプレミアムパレットからリグリアンブラック、トルマリンブラウン、ソレントイエローの3色を用意
- ・ インテリアはエボニーースエードクロス&シエナタンウィンザーレザーパフォーマンスシートの組み合わせ

車両価格 (税込)	ジャガー F-PACE SVR CURATED FOR JAPAN：	17,253,000円～17,565,000円
--------------	------------------------------------	-------------------------

ニューモデル 発売：2023年8月25日 / デリバリー：未定

### メルセデス・ベンツ EQE SUV



- ・ 電気自動車専用プラットフォームを使用したミディアムサイズのラグジュアリー SUV。2つの永久磁石同期モーターによる4輪駆動モデルで、オフロード走行に適したOFFROAD モードも標準装備
- ・ ヒートポンプとディスコネクトユニットの採用により効率性を向上。EQE 350 4MATIC SUVでは一充電航続距離528kmを実現
- ・ スポーツモデルのメルセデス AMG EQE 53 4MATIC+ SUV ローンチエディションではMBUXハイバースクリーンを標準装備

車両価格 (税込)	メルセデス・ベンツ EQE 350 4MATIC SUV ローンチエディション：	13,697,000円
	メルセデス AMG EQE 53 4MATIC+ SUV ローンチエディション：	17,070,000円

特別仕様車 予約受注開始：2023年8月2日 / デリバリー：未定

### ポルシェ 911 S/T



- ・ ポルシェ 911の60周年を記念する世界限定1,963台の特別仕様車
- ・ 911 GT3 RSに搭載される525PSエンジンをマニュアルギアボックスおよび専用の軽量クラッチと組み合わせた純粋主義者のためのモデル
- ・ 徹底的な軽量設計により、車重は992世代でもっとも軽量な1,380kg。0-100km/h加速は3.7秒、最高速度は300km/h。公道での走行に焦点を置いた設計によりユニークなドライビングエクスペリエンスを実現

車両価格 (税込)	ポルシェ 911 S/T:	41,180,000円
--------------	---------------	-------------

## HERITAGE

## 3 1/2リッター「サイレント スポーツカー」の誕生90周年を祝福

ベントレー モーターズの現在の生産拠点は英国・クルーですが、1931年にロールス・ロイス傘下となった後、1933年～1939年の期間の生産拠点は英国・ダービーでした。この時代に誕生したベントレーの通称は「ダービー ベントレー」。今年は生産拠点がダービーに移されて、つまりダービー ベントレーが誕生してから90周年ということで、ダービー ベントレー専門のオーナーズクラブであるザ・サイレントスポーツカークラブの主催により、60台以上のダービー ベントレーがクルーに集結しました。



クルーに集結したダービー ベントレーは、1930年代にこのモデルのためにボディ製造を手掛けた40以上の独立系コーチビルダーの展示会の様相を呈していました。シャシーナンバー「B15AE」は、1933年9月に製造された2台のオリジナルローンチカーのうちの1台で、シャシーナンバー「3-B-50」は、1939年に実験的に4台だけ製造された6気筒サルーンのうち現存する唯一の車両です。いずれの車両もこの時代の多種多様なスタイルを見事に表現しています。美しいクラシックカーの車列を組んでクルーを訪れたこのイベントの参加者は、クルーのキャンパスツアー、新装されたベントレーのヘリテージコレクション、マリナーのワークショップの見学を楽しみました。ヘリテージコレクションには、スラップ&メイバリー社がボディ製造を手掛けた1934年製の3 1/2リッターが収蔵されています。このモデルは戦前の車両を展示するリニアージュエリアに展示さ

れ、今回のゲストにご覧いただきました。翌日にはダービー ベントレー誕生90周年を正式に祝う正装のディナーパーティーに1939年製Mk Vクーニッシュが主賓として招かれ、その移動のために84年ぶりに公道を走行しました。

ちなみに「サイレント スポーツカー」は、3 1/2リッター6気筒エンジンを搭載するダービー ベントレーが、当時としては十分な出力である120馬力を発揮しながらも、その洗練された乗り心地やエレガントなプロポーションなどからそう呼ばれることになったと伝えられています。





## インクルージョンを表現したベンティガ 建築画家スティーブン・ウィルシャー氏がペイント

ベントレー モーターズはこのほど、世界で最も多様性に富んだラグジュアリーカーメーカーを目指すというミッションの次のステップとして、「ピロギング ベンティガ」を発表しました。建築画家のスティーブン・ウィルシャー氏（写真左下）が手描きで仕上げたアルパイン グリーンのベンティガ ハイブリッドには、ニューヨーク、ロンドン、パリ、ローマ、ミラノ、ベニス、東京、香港など、世界各地の有名な建造物や高層ビル群が描かれています。クルー工場でベントレーがこのように手描きでペイントされたのはこれが初めてで、ベントレー エクセレンスセンターのビスポークペイントのチームが開発した独自のプロセスが用いられました。また、このデザインには世界中の人々や国籍が1つのデザインのもとで団結している様子が描かれています。このベンティガは、ベントレーの多様性へのコミットメントを示すためにベントレーが発表した3台目の作品となりました。ベントレーのコミュニケーション兼 D&I 最高責任者のウェイン・ブルースは、「この素晴らしい



いベンティガは、ベントレーのクラフトマンシップとウィルシャー氏の芸術的才能を祝福するものであり、自動車業界をリードする5つのステップから成るダイバーシティおよびインクルージョンに関する計画を含む Beyond 100 戦略の重要な要素でもあります」などとコメントしました。

ウィルシャー氏は、「キャリアを通じて何度も旅してきましたが、最も印象に残っているのは各地の建物、その建築様式、そして人々です。ベントレーとピロギング ベンティガも同様で、人々を結びつけ、旅を生み出し、思い出を生み出すものだとは信じています。ピロギング ベンティガは大きな挑戦でしたが、私は自分の才能を試す挑戦を好みます。心と魂を込めればどんなことも乗り越えられることを証明できたのではないのでしょうか。完成した車を誇りに思いますが、控えめに言っても素晴らしい車になりました!」と語っています。

ベントレーの多様性を示した車両としては、ベントレーのダイバーシティへの姿勢を示したフライングスパー「ユニファイングスパー」と、クルー本社と世界中の従業員のダイバーシティに対するプライドを示し、コロナ禍からのビジネスの復活を期したレインボーカラーのコンチネンタル GT V8 コンバーチブルがありました。



## BEYOND 100

## ベントレー環境財団が 新たなパートナー 2 団体を発表



環境問題に対する次世代の解決策を見出すため、ベントレー モーターズが 300 万ポンドを投じて設立したベントレー環境財団はこのほど、新たに 2 団体のパートナーとの提携を発表しました。新パートナーは、クライメート・グループとリバーズ・トラストの 2 団体。クライメート・グループは、気候変動対策を迅速に推進するための協力的なアプローチを専門とする国際非営利団体。リバーズ・トラストは、英国・クルーにあるヴァレーブルック川を含む河川の保護と改善を主導する団体です。この提携により、サステナビリティに関するグローバルなイニシアティブを強化するベントレーの長期的なコミットメントがさらに加速していくことになります。

ベントレー環境財団の責任者であり、ベントレー モーターズのブランドコミュニケーション責任者でもあるクリストフ・ホフマンは、「新たなパートナーをベントレー環境財団に迎えることができ、大変嬉しく思います。クライメート・グループとリバーズ・トラスト、そしてベントレーのコラボレーションは、変化を促し、環境に大きな影響を与えるサステナビリティに関するプロジェクトを国際的に支援するという、私たちのブランド DNA と長期的なコミットメントを反映しています」などとコメントしています。

ベントレー環境財団は、設立パートナーの 3 団体と、今回新たに加わった 2 団体の計 5 団体によって形成されており、今後さらに多くのパートナーが加わる予定です。

## COMPANY

## 2024 年度の研修生募集人数は 過去最多の 164 人に



ベントレー モーターズはこのほど、2024 年度の研修生の募集について発表しました。サステナブルなラグジュアリー モビリティのリーダーを目指す Beyond 100 戦略を推進するため、募集人数は過去最多の 164 人に上ります。2024 年に採用する 164 人の内訳は、34 人は 3 年または 4 年の見習い職、29 人が新卒、101 人が 12 カ月の技能実習生となります。その他の部門には、製造、セールスおよびマーケティング、財務および人事などが含まれます。

カレン・ランゲ取締役(人事担当)は、「ベントレーの研修生プログラムは 40 年以上前に初めて設立され、今でも記録的な採用水準を維持し続けていることは、将来の才能を支援するというベントレーのコミットメントの証であり、彼らが将来のベントレーを形成するうえで重要な役割を担っていることの証でもあります。ベントレーは多様性を強化し、多くの分野でスキルアップする機会を提供することを約束します。ベントレーの目標を実現するためにも、さまざまなバックグラウンドを持つ才能ある人材を求めています」などとコメントしています。

2024 年の募集開始と並行し、ベントレーは 2023 年に入社する 117 人の研修生を迎えました。研修生の 1 人であるサラ・ホールデンは、「ベントレーは高い技能を持つ従業員がいることで世界に知られる一流企業。その一員となったことを誇りに思います。これからの 1 年、それがもたらすチャンスにとってもわくわくしています」などと抱負を述べました。



# J-NCAPは何をテストするのか？

J-NCAP（自動車アセスメント）は、一体、どのような試験を実施しているのでしょうか。  
その狙いと試験の内容、最新の結果を紹介します。



## J-NCAPは第三者機関による安全性の試験

「J-NCAP（自動車アセスメント）」は、自動車メーカーと関わりのない第三者機関がクルマの安全性能を試験して、その結果を公表するというもの。国土交通省と自動車事故対策機構（NASVA：ナスバ）が毎年実施しています。試験は、「衝突安全性能」（100点満点）と「予防安全性能」（91点満点）、そして「事故自動緊急通報装置」（8点満点）の3つがあり、それぞれの点数をあわせて総合評価が出されます。最高点は199点です。試験車両は不正のないように町のディーラーから購入。予算の上限があるため、例年試験の実施は13～15台ほど。「J」と頭にあるように日本のテストを指し、他に欧州の「EURO NCAP」や韓国の「K-NCAP」、中国の「C-NCAP」、アセアン地域の「ASEAN NCAP」などが存在します。アメリカでは運輸省道路交通安全局（NHTSA）と道路安全保険協会（IIHS）の2つによる試験が実施されています。

## 型式認証とJ-NCAPの違い

自動車メーカーが開発した新型車を市販するには、国の定めた安全性能をクリアする必要があります。それが「型式認証」です。安全性能を見るという意味では「型式認証」と「J-NCAP（自動車アセスメント）」は同じになります。ただし、「型式認証」は“最低限度”の安全性をクリアしていることを認めるもの。一方で「J-NCAP」は、その“性能の高さ”を比較するものとなります。言ってみれば、レストランに対して、衛生面をクリアしていることをチェックする保健所と、美味しさを評価するSNS投稿の違いです。「食べてお腹をこわさない」という最低限度を認めるのが保健所であり、クルマの型式認証です。「どれだけ美味しいのか」を認めるのがSNS投稿であり、クルマの安全性能を評価する「J-NCAP」となるわけです。

## 衝突安全性能の試験の内容

「J-NCAP」で実施される衝突安全性能のテストは8種類あります。クルマに乗っている乗員を守るためのテストが「フルラップ前面衝突（正面衝突）」「オフセット前面衝突（対向車との部分衝突）」「側面衝突」「追突後の感電保護性能」「後面衝突時の頸部保護性能」「シートベルト着用警報装置」です。「後面衝突時の頸部保護性能」はシートのみのテストとなります。そして歩行者を守るために「頭部の保護性能」「脚部の保護性能」のテストが実施されます。「頭部の保護性能」はボンネットやフロントガラスに頭部を模した球状の計測器をぶつけます。「脚部の保護性能」はフロントバンパーに脚部を模した計測器をぶつけます。



側面衝突試験では、1300kgの台車を時速55kmで衝突させます。台車は乗用車を模したアルミハニカム部材を使用。



オフセット前面衝突試験では、試験車を時速64kmでアルミハニカムに、オーバーラップ率40%で衝突させます。

## 予防安全性能評価の試験の内容

予防安全性能評価は、衝突被害軽減自動ブレーキなど、いわゆる先進運転支援システム（ADAS）系の性能を評価します。今年からは、衝突被害軽減自動ブレーキに「対自転車」のテストも加わりました。テストの内容は「衝突被害軽減ブレーキ（前方自動車との衝突／昼間の前方歩行者との衝突／夜間の前方歩行者との衝突〔街灯あり・なし〕／前方自転車との衝突）」「車線逸脱抑制（車線からはみ出し）」「後方視界情報（後退時のバックモニターの見え方）」「高機能前照灯（照射範囲の自動切換えや変更）」「ペダル踏み間違い時加速抑制（発進時のペダル踏み間違い時の抑制）」というものです。



進化する市販車の性能にあわせて、試験内容も毎年のように更新。今年の衝突被害軽減自動ブレーキは自転車に対する試験が加わりました。



車線逸脱抑制装置の試験では、試験車を時速60kmおよび70kmで走行。路面の線からはみ出すように走行したときの制御を試みます。

## 22年度の最高成績はトヨタの「ヴォクシー／ノア」

2022年度のJ-NCAPでは、13車種が試験を実施。うち7台が最高評価となる5つ星となる「ファイブスター賞」を獲得。その中でも最高点数は「ヴォクシー／ノア」の186.44点（199点満点）でした。他の5つ星はトヨタ／スバルの「bZ4X／ソルテラ」、トヨタ「シエンタ」、日産「サクラ」、ホンダ「ステップワゴン」、三菱「eKクロスEV」、トヨタ「カローラクロス」です。欧州車はフォルクスワーゲン「ゴルフ」だけが試験を実施して、166.8点で4つ星となっています。



2022年度の「J-NCAP」で最高展を獲得したのはトヨタの「ヴォクシー／ノア」でした。すべての試験項目で高い評価を得ています。



2022年度で唯一の輸入車は「ゴルフ」。衝突安全の成績は良いものの予防安全と事故自動緊急通報装置がないため、4つ星となってしまいました。